

Apache モジュール mod_setenvif

説明:	リクエストの特徴に基づいた環境変数の設定を可能にする
ステータス:	Base
モジュール識別子	setenvif_module
:	
ソースファイル:	mod_setenvif.c

概要

`mod_setenvif` モジュールは、リクエストのある側面が指定された正規表現に合うかどうかによって環境変数を設定する機能を提供します。これらの環境変数を使用して、サーバの他の部分がどのような動作をするかを決定することができます。

このモジュールが提供するディレクティブは、設定ファイルに現れる順番に適用されます。それを使って、次の例のようにより複雑な設定をすることができます。これは、ブラウザが mozilla ではあるけれど、MSIE ではないときに netscape を設定します。

```
BrowserMatch ^Mozilla netscape
BrowserMatch MSIE !netscape
```

トピック

URI References..... 4

ディレクティブ

BrowserMatch..... 1
 BrowserMatchNoCase..... 2
 SetEnvIf..... 2
 SetEnvIfNoCase..... 4

参照

- Apache の環境変数¹

BrowserMatch ディレクティブ

説明:	HTTP User-Agent に基づいて環境変数を設定する
構文:	BrowserMatch regex [!]env-variable[=value] [[!]env-variable[=value]] ...
コンテキスト:	サーバ設定ファイル, バージョナルホスト, ディレクトリ, .htaccess
上書き:	FileInfo
ステータス:	Base
モジュール:	mod_setenvif

`BrowserMatch` は `SetEnvIf` ディレクティブの特例で、User-Agent HTTP リクエストヘッダに基づいて環境変数を設定します。以下の 2 行の効果は同じになります:

```
BrowserMatchNoCase Robot is_a_robot
SetEnvIfNoCase User-Agent Robot is_a_robot
```

その他の例:

```
BrowserMatch ^Mozilla forms jpeg=yes browser=netscape
BrowserMatch "^Mozilla/[2-3]" tables agif frames javascript
BrowserMatch MSIE !javascript
```

BrowserMatchNoCase ディレクティブ

説明:	HTTP User-Agent に基づいて大文字小文字を区別せずに 環境変数を設定する
構文:	BrowserMatchNoCase regex [!]env-variable[=value] [[!]env-variable[=value]] ...
コンテキスト:	サーバ設定ファイル, バーチャルホスト, ディレクトリ, .htaccess
上書き:	FileInfo
ステータス:	Base
モジュール:	mod_setenvif
互換性:	Apache 1.2 以降 (Apache 1.2 ではこのディレクティブはもう用いられていない mod_browser モジュールにありました)

[BrowserMatchNoCase](#) ディレクティブは 意味的には [BrowserMatch](#) ディレクティブと 同じです。ただし、このディレクティブは大文字小文字を区別しない マッチングを行いません。例えば:

```
BrowserMatchNoCase mac platform=macintosh
BrowserMatchNoCase win platform=windows
```

[BrowserMatch](#) ディレクティブと [BrowserMatchNoCase](#) ディレクティブは [SetEnvIf](#) ディレクティブと [SetEnvIfNoCase](#) ディレクティブの 特例です。以下の 2 行の効果は同じです:

```
BrowserMatchNoCase Robot is_a_robot
SetEnvIfNoCase User-Agent Robot is_a_robot
```

SetEnvIf ディレクティブ

説明:	リクエストの属性に基づいて環境変数を設定する
構文:	SetEnvIf attribute regex [!]env-variable[=value] [[!]env-variable[=value]] ...
コンテキスト:	サーバ設定ファイル, バーチャルホスト, ディレクトリ, .htaccess
上書き:	FileInfo
ステータス:	Base
モジュール:	mod_setenvif

[SetEnvIf](#) ディレクティブは、リクエストの属性に基づいて環境変数を定義します。最初の

引数で指定できる attribute は以下の三つのどれかです:

1. HTTP リクエストヘッダフィールド (詳しい情報は RFC 2616² を参照してください)。例えば、Host, User-Agent, Referer, Accept-Language です。リクエストヘッダの集合を現すために 正規表現を使うこともできます。
2. 以下のリクエストの一部分のどれか:
 - Remote_Host - リクエストを行なっているクライアントのホスト名 (もしあれば)
 - Remote_Addr - リクエストを行なっているクライアントの IP アドレス
 - Remote_User - 認証されたユーザ名 (もしあれば)
 - Request_Method - 使用されているメソッド名 (GET, POST など)
 - Request_Protocol - リクエストが行なわれたプロトコルの名前とバージョン (例えば、"HTTP/0.9", "HTTP/1.1" など。)
 - Request_URI - URL のスキームとホストの後の部分
3. リクエストと関連付けられる環境変数のリスト。これにより SetEnvIf ディレクティブが以前のマッチの結果を使うことができるようになります。この方法のテストでは前の部分にある SetEnvIf[NoCase] の結果のみを使用可能です。「前」とは、より広い範囲に対して定義されている (サーバ全体のように) か、現在のディレクティブの範囲でより前の部分で定義されているか、ということです。環境変数である可能性は、リクエストの特性に対するマッチが存在せず、attribute に正規表現が使われなかったときにのみ考慮されます。

二つ目の引数 (regex) は Perl 互換の正規表現³です。これは POSIX.2 の egrep 形式の正規表現と似ています。regex が attribute にマッチする場合は、残りの引数が評価されます。

残りの引数は設定する変数の名前でも、設定される値を指定することもできます。これは、

1. varname か
2. !varname か
3. varname=value

のどれかの形式になります。

最初の形式では、値は "1" に設定されます。二つ目は、もし値が定義されていればそれを取り除き、三つ目は変数を value として与えられた値に設定します。

例:

```
SetEnvIf Request_URI "%.gif$" object_is_image=gif
SetEnvIf Request_URI "%.jpg$" object_is_image=jpg
SetEnvIf Request_URI "%.xbm$" object_is_image=xbm
:
SetEnvIf Referer www%.mydomain%.com intra_site_referral
:
SetEnvIf object_is_image xbm XBIT_PROCESSING=1
:
SetEnvIf ^TS* ^[a-z].* HAVE_TS
```

Apache モジュール mod_setenvif

初めの三つはリクエストが画像であるときに環境変数 `object_is_image` を設定します。四つ目は 参照元のページがウェブサイト `www.mydomain.com` にあるときに `intra_site_referral` を設定します。

最後の例は、リクエストに “TS” で始まり、値が集合 [a-z] のどれかで 始まるヘッダがあるときに `HAVE_TS` を設定します。

参照

- 他の例は、Apache の環境変数¹

SetEnvIfNoCase ディレクティブ

説明:	リクエストの属性に基づいて大文字小文字を区別せずに環境変数を設定する
構文:	SetEnvIfNoCase attribute regex [!]env-variable[=value] [[!]env-variable[=value]] ...
コンテキスト:	サーバ設定ファイル, バーチャルホスト, ディレクトリ, .htaccess
上書き:	FileInfo
ステータス:	Base
モジュール:	mod_setenvif
互換性:	Apache 1.3 以降

`SetEnvIfNoCase` は意味的には `SetEnvIf` ディレクティブと同じです。違いは、正規表現のマッチングが大文字小文字を区別しないで 行なわれることです。例えば:

```
SetEnvIfNoCase Host Apache%.Org site=apache
```

これは HTTP リクエストヘッダにフィールド `Host:` が あり、その値が `Apache.Org` や `apache.org`、その他の大文字小文字の組み合わせであったときに `site` 環境変数を “`apache`” に設定します。

URI References

[1] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/env.html>

[2] <http://www.rfc-editor.org/rfc/rfc2616.txt>

[3] <http://www.pcre.org/>